

令和7年度（上級）特許調査研修（審査官の視点に近づこう！） 実施報告

令和8年3月

独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）では、令和7年度（上級）特許調査研修（審査官の視点に近づこう！）をオンライン講義と会場での検索実習のハイブリッドにて2回実施いたしました。本研修では、効果、効率的な先行技術調査手法や、進歩性の判断の仕方などについて、講義だけではなく、演習・グループディスカッション、特許審査官が使う「高度検索閲覧用機器」（一部機能制限あり）を利用した調査実習を通じて学習いただきました。

1. 研修の概要

(1) 日程	第1回			第2回		
	6月16～17日,19日～20日			12月9～10日,15～16日		
(2) 開催地	東京都(6月16～17日はオンライン)			東京都(12月9～10日 はオンライン)		
(3) 参加人数 (分野別内訳)	20名			23名		
	機械・装置	化学	電気・電子	機械・装置	化学	電気・電子
	5名	10名	5名	10名	9名	4名
(4) 講師	9名			9名		

2. アンケート結果（アンケート回収率：第1回 80%、第2回 91%）

(1) 研修全体として	人数	割合	人数	割合
・非常に有意義であった	10名	62.5%	12名	57%
・有意義であった	6名	37.5%	9名	43%
・どちらとも言えない	0名	0%	0名	0%
・有意義でなかった	0名	0%	0名	0%
・とても有意義でなかった	0名	0%	0名	0%
・無回答	4名	—	2名	—
(2) 主な意見・要望	・分類に関する知識、検索式作成にあたっての考え方や、文献の選択の判断など、ディスカッションも行いながらしっかりと考え学ぶことができ、とても勉強になった。			
	・実際に審査官をされていた講師の方から、文献を選択する考え方やY文献の組合せ方を教えていただきましたが、普段このような機会がこれまでなかったためとても有意義な研修となった。			
	・検索式構築の考え方が変わって、非常に有意義だった。			
	・検索式は複数あるので、他の研修生と同じ案件を調査、討論することで気づきがあった。			
	・特許調査業務に活かせる内容が多く含まれていたと感じた。			